

腱鞘炎（けんしょうえん）・ばね指

症状	手指（親指～小指）の付け根に痛みがあり、ひどくなると、起床時に指が曲がったままになったり、伸ばそうとすると痛みを伴いながらカクっとしたりします。
原因	腱鞘炎・ばね指は日常生活において手指をよく使う方（例えば、手をよく使う仕事の方、パソコン作業が多い方、家事で手作業が多い方など）に多く発生します。また、女性ホルモン減少の影響も一因であると言われており、更年期以降の女性は腱鞘炎・ばね指になりやすいと言われています。
病態	指を曲げる腱は、いくつかの腱鞘と呼ばれるトンネルの中を通りますが、腱鞘の中で炎症が起こったり、腱や腱鞘が分厚くなったりすると、腱と腱鞘が擦れたり引っかかったりするようになります。
治療	まずは安静にしたり、軟膏を塗ったりするのが治療になります。それでも改善しない場合は、ステロイドの腱鞘内注射を行う事もあります。ステロイドの注射でも改善がなければ、腱鞘を切開する手術も考慮します。

